

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

平成25年10月4日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 辻 井 昭 雄 様

所属部局・研究科 京都大学文学研究科

職 名・学 年 西洋哲学史(古代)博士課程2年

氏 名 TOLGA INSEL

| | | | |
|------------|--|----------|----------|
| 助成の種類 | 平成25年度 ・ 若手研究者在外研究支援 ・ 国際研究集会発表助成 | | |
| 研究集会名 | 第23回世界哲学会 23rd World Congress of Philosophy | | |
| 発表題目 | ヘラクレイトスにおける ξυνός の使われ方 Heraclitus' use of the word "xunos" | | |
| 開催場所 | ギリシャ・アテネ大学 | | |
| 渡航期間 | 平成25年8月4日 ～ 平成25年8月11日 | | |
| 成果の概要 | タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有() | | |
| 会計報告 | 交付を受けた助成金額 | 200,000円 | |
| | 使用した助成金額 | 200,000円 | |
| | 返納すべき助成金額 | 0円 | |
| | 助成金の使途内訳 | 旅費 | 140,000円 |
| | | 宿泊費 | 40,000円 |
| | | 生活費 | 30,000円 |
| 上記に充当 | | | |
| 当財団の助成について | (今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) | | |

成果の概要

Tolga INSEL (トルガ・インセル)

この度、8月4日から10日にかけて開催されました第23回世界哲学学会大会に出席致しました。同大会は世界最大の哲学大会であり、世界各国からの1000名を超える参加者による各々の研究分野に特化したセッションでの研究発表が行われました。私自身は自分の研究対象であるギリシャ哲学、中国哲学、そして日本哲学に関する数々の研究発表を聴講しました。空き時間には他の学者との交流と意見交換ができ、その上セッション会場にもなったアテネ市内の遺跡を訪れる機会もありました。

8月9日には約20名の聴講者の前で自分の研究発表を行いました。発表後の質疑応答では、5、6名からの質問に応じ、自分のメッセージが伝わっている確かな手応えを感じる事ができたと同時に、自己の研究を更に深めたい衝動に駆られ、その必要性を実感しました。セッション終了後、聴講していた数人の教授や学生から発表を評価する意見を頂戴し、私の発表が好評であった事とても嬉しく思います。私にとって当大会に参加できた事は全てにおいてとても勉強になる有意義な経験となりました。最後になりましたが、関西哲学学会より国際学会参加支援をして頂いたお陰でこのような貴重な経験ができ、これを可能にした貴学会へ改めて心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

